

# 2018 年度事業計画

(2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

法人名称 NPO 法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー

## 1. 事業活動方針

2017 年度の事業報告の課題を踏まえ、2017 年の新・行動宣言を一步進める形で、各種事業を展開したい。

## 2. 事業内容

### 学校支援事業 ①理論学習会

事業概要	<p>本学習会は、教員の実践を中心に各テーマを設定して行う。学校を取り巻く世の中の状況は厳しさを増し、広がり続ける差は、弱い立場にあるものがさらに追い込まれるしかない状況を生み出している。大変さや困難さを抱え日々を生きる子ども達にとって、学校、集団の意味とは何なのか。教員自身がまずは、知ること、語ること、実践につなげていくことで、その答えは見えてくるのではないかと思われる。</p> <p>社会の現況に目を背けることなく、目の前の子ども達に向き合ってきた教育の実践家たちが見てきたこと、考えてきたことに触れ、そこから得た視点をもって、教育現場の今を見据える力、自己の実践を振り返る力を養いたい。</p> <p>理論と実践を紡ぎ、子ども達が進んでいく社会イメージをもって議論を深める場として本学習会が充実したものとなるよう、テーマの設定を検討し、直接子どもに働きかけられる立場にある学校や教員のもつ可能性を、2017 年度に引き続き模索していきたい。</p>
活動代表	●馬場有希 ●村本綾
開催日時	毎月第一月曜日 19:00～21:00
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	教員を中心に、教員志望の学生、市民
収入予定金額	45,000 円 (参加費)
支出予定金額	82,222 円 (諸謝金、賃借料、消耗品費、印刷製本費)

### 学校支援事業 ②授業研究会

事業概要	<p>2017 年度の「貧困」をテーマにした授業を行うことで、「労働教育」を進める上での基盤とする考えを、さらに発展させて取り組みたい。「労働教育」の授業を行うためには、さまざまな切り口があるため、昨年度とは違った視</p>
------	--

	点や方法の授業づくりを考えていきたい。実際に授業実践を行うことが最終目標である。指導法の事例が増えることで、小学校における「労働教育」の普及、さらには中学校での普及にもつながるのではないかと考える。
活動代表	●下新原なつみ ○三澤律子、○村本綾
開催日時	原則 木曜日開催 19時～21時（授業検討会は19:30～21:00）
場所	富士見文化会館（講演会2回） 大和市文化創造拠点シリウス（授業検討会他）
対象者	教員
収入予定金額	55,500円（参加費）
支出予定金額	39,310円（諸謝金、賃借料、印刷製本費）

### 学校支援事業 ③スタディツアー

事業概要	現在の教育情勢や社会状況に関する場所へ、出向いて学習を行う。
活動代表	●池田喬
開催日時	2018年秋を予定
場所	検討中
対象者	教員 教員希望者 市民
収入予定金額	15,000円（参加費）
支出予定金額	900円（賃借料）

### 学校支援事業 ④産休・育休・働くママ・パパのための学習会

事業概要	<p>大和市内では若い教員が年々増えており、今後子育てをしながら働く世代が多くなると予想される。育休中は現場から離れていることで復帰後の不安を感じたり、教育問題を考える機会が極端に減ったりする教師も多い。また、復帰しても仕事と育児をこなすことに追われ、学習する場所も機会もないのが現実なのではないか。そのため、本事業では産休・育休中、または働く母親や父親が限られた時間の中でも学習できる場を設定する。</p> <p>本学習会は毎回2部構成で開催する。第1部では、理論学習会での内容をコーディネートし、教育に関する問題を取り上げ、現場への復帰を視野に入れながら共に考える機会をつくる。母親が学びたいと思う内容を吟味して、組み立てていきたい。</p> <p>第2部では、悩み相談や育児に関わる情報交換をする時間を設定する。社会から切り離されているように感じ、孤立しやすい育児中の母親が、人とのつながりをつくり、情報交換ができる場にする。また、前年度に話された育児中の制度について、資料等をもとに学習する。</p> <p>本事業では学習会以外に保育アルバイトのコーディネートを担う。</p>
活動代表	●清水美希 ○下新原なつみ

開催日時	年 5 回 原則第 4 土曜日 10:00～11:30
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	産休・育休中、または働きながら子育てをしている教師
収入予定金額	10,000 円 (参加費)
支出予定金額	93,637 円 (消耗品費、諸謝金、印刷製本費、賃借料)

## 学校支援事業 ⑤外国人の子ども理解のための学習会

事業概要	大和市には、数多くの外国にルーツをもつ子ども達が暮らしている。しかし、来日経緯や家庭の状況、普段子ども達がおかれている環境を知る機会が極めて少ない。そこで、学習ボランティア希望者や、学校教員を対象に夏 4 コマ× 2 日間、秋 4 コマ× 2 日間、計 16 コマ学習会を行っていき、外国人の子ども達が置かれている状況や課題を理解し、様々な教育現場での学習支援に役立てていくために、学習会を開催していく。
活動代表	●前田拓郎 ●すたんどばいみー (西岡歩)
開催日時	検討中
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	学習ボランティア希望者、学校教員など
収入予定金額	0 円
支出予定金額	94,820 円 (諸謝金、消耗品費、印刷製本費、賃借料)

## 学校支援事業 ⑥特別支援教育のための学習会

事業概要	「障がい」をめぐる社会的状況は、最近の 10 年で大きく変化してきている。2005 年に発達障害者支援法が施行し、自閉症、アスペルガー、学習障害、ADHD といった障がい名が世の中に広く認知されるようになった。2007 年度からは、学校教育における「障がい」をめぐる教育も、特殊教育から特別支援教育へと名称変更した。他方、2016 年からは障害者差別解消法が施行された。にもかかわらず、7 月 26 日には相模原障がい者施設では障がいの者の殺傷という凄惨な事件も起きている。 2017 年度よりの新事業であるため、2018 年度は学習を一層深める事業展開をする。
活動代表	●三澤律子 ●すたんどばいみー(劉麗鳳) ○森尾宙 ○西岡歩 ○清水睦美
開催日時	検討中
場所	大和市文化創造拠点シリウスを中心とする
対象者	教員
収入予定金額	80,000 円 (参加費)
支出予定金額	89,474 円 (旅費交通費、諸謝金、雑費、通信運搬費、消耗品費、賃借料)

## 外国人支援事業

### ⑦子どもの居場所・学習支援教室（エステレージャ・ハッピー教室）

事業概要	<p>就学前幼児、小学生、中学生の外国人児童生徒を対象に学習支援を行いながら、子どもに何らかの困難や課題が見られる場合にはその背景にあるものを探り、必要であれば関係機関との橋渡しを行うなど、子どもに寄り添った支援のあり方を模索する。</p> <p>2017年の体制変更を基盤として、2018年度は、外国人児童生徒への手厚い支援のあり方を探るような事業展開を検討する。</p>
活動代表	<p>●篠原弘美 ●馬場貴司 ○角替弘規 （事業スタッフ） 内藤順子 吉間里依 保坂克洋 ガマラ・ヒロシ 相模女子大学ボランティアサークル「ミント」 井上哲夫</p>
開催日時	<p>&lt;就学前～小学生&gt;毎週土曜日 10:00～12:00 &lt;中学生&gt;毎週土曜日 10:00～12:00 定期テスト前 平日週1回 18:30～20:00 年10回程度 中3受験対策学習会 12月下旬 個別対応 随時</p>
場所	大和市立林間小学校学校開放、鶴間コミセン、勤労福祉会館、シリウス等
対象者	就学前～中学生の外国人の子ども
収入予定金額	21,600円（参加費）
支出予定金額	256,224円（賃借料、消耗品、業務委託費、諸謝金、印刷製本費、旅費交通費）

## 外国人支援事業

### ⑧子どもの居場所・学習支援教室（厚木・座間教室）

事業概要	小学生・中学生・高校生の外国人児童生徒を対象として学習支援教室を開催する。
活動代表	●福島聖子
開催日時	土曜日 15:00～17:00（暫定）
場所	あつぎ市民交流プラザ（アミューあつぎ）
対象者	厚木市・座間市在住の小学生～高校生の外国人
収入予定金額	2,400円（参加費）
支出予定金額	30,200円（賃借料、消耗品費、印刷製本費）

## 外国人支援事業 ⑨保証人事業

事業概要	外国人学生が、外部の奨学金を受ける際の保証人を用意できない時に、「保
------	------------------------------------

	証人グループ」を構成して、保証人を引き受ける事業である。希望者が現れたら、進学目的や将来の見通しを確認した上で、保証人を引き受けるかどうか決定する。保証対象者に対しては、1月と7月の報告会で、生活状況や返済状況を確認するが、特に心配される保証対象者とは、月1回の面談を行い、より丁寧に確認していく。
活動代表	●神戸芳子 ○すたんどばいみー（西岡歩）
開催日時	① 定例報告会 検討中 ② 個別面談 毎月26日前後 ③ 臨時保証人グループ会議 必要に応じて開催
場所	渋谷中学校開放「下和田の郷」、大和市文化創造拠点シリウス、当法人事務所
対象者	保証対象者3名（高校奨学金1名、日本学生支援機構1名、国際医療福祉大学熱海病院看護師奨学金1名）
収入予定金額	0円
支出予定金額	500円（貸借料）

## 外国人支援事業 ⑩すたんどばいみー基金

事業概要	「すたんどばいみー」など、外国人当事者団体で活動する大学生及び大学院生に対して、高等教育に関わる費用の貸借に関する事業を行う。これまで対象の中心であった「すたんどばいみー」のNPO化に伴い、基金事業の移行を模索するために、内規の変更を行い、報告会を、「すたんどばいみー」と共催できる方向を探る。
活動代表	●すたんどばいみー（チャンソワンナリット） ○内藤順子 ○清水睦美
開催日時	①すたんどばいみー基金の会（検討中） ② 返金・寄付（適宜） ③ すたんどばいみーとの協議（適宜）
場所	① 渋谷中学校学校開放 ②③事務所・適宜
対象者	返金：貸与者 寄付：市民
収入予定金額	0円
支出予定金額	15,200円（印刷製本費、通信運搬費）

※「すたんどばいみー基金」の貸与・返還は、例年どおり特別会計として行う。

## 子ども支援事業 ⑪愛川学習支援 Friends☆Star 教室

事業概要	2016年度の6月より厚木保健福祉事務所からの業務委託に引き続く事業で、新たに「子ども支援事業」として位置づけて発足する。 愛川町在住の生活保護世帯及び困窮世帯の子どもたちは進学・進路への不安を持つことによる学業不振、不登校や家庭での学習の習慣・場がないなど
------	--

	<p>の課題を抱えている。さらに、外国籍や外国出身者や母子世帯の割合が高いことによる孤立がかれらを閉塞感へと押し込めている。そのような状況に関わらず、かれらの困難によりそう団体や地域、学校が不在ぎみである。そのため、私たちはかれらの混沌とした状況と貧困が及ぼす閉塞感を打破するため、週1回の学習支援や居場所事業（デイキャンプ、スポーツ大会、勉強合宿、卒業お祝い会）を通して、子どもたちの閉ざされた人間関係やかれらが抱く閉塞感を、少し上のお兄さんやお姉さんと出会わせることによって、将来の人生設計のロールモデルに出会う場として教室を位置付けたい。また、今年度は参加する中学生のなかで高校受験を控える子どもが4名いるため、かれらが無事希望する高校に入学するまでの学習支援や受験のための手続きのサポートをしたい。他方、小学生の方は、新中学生が3名いるため、新しい環境の変化で戸惑うことを想定し、かれらの話し相手となりつつ学習のサポートをしていきたい。高学年の小学生には学習に向かうための環境整備（例えば、不足気味な文具を揃えるなど）をしつつ、教室に通う仲間としての関係構築を試みたい。</p>
事業目標	<p>本事業の目的は、愛川町在住の Friends☆Star 教室に通う子どもたちの進学・進路に対して不安を持つ子どもたちに寄り添い課題解決に向けた支援を行うことを目標とし、子どもたちのニーズに合わせた居場所事業としてのイベント等も行う。</p>
活動代表	<p>●すたんどばいみー（チューブサラーン） ○清水睦美 （事業スタッフ）坪田光平 清水真飛 長畑ハルミ グェンニヤットトウイ ガマラヒロシ 角替弘規 他</p>
開催日時	<p>学習支援（毎週水曜日）、居場所事業（適宜）</p>
場所	<p>中津レディースプラザ</p>
対象者	<p>愛川町在住の児童・生徒</p>
収入予定金額	<p>0 円</p>
支出予定金額	<p>2,000,870 円（給与手当、業務委託費、旅費交通費、諸謝金、印刷製本費、福利厚生費、雑費）</p>

## 子ども支援事業 ⑫お母さんのための日本語教室 in 愛川

事業概要	<p>Friends☆Star 教室は夜間の開催になるため、保護者特に母親たちが子どもたちの送り迎えのため付き添ってくる。そうした母親たちも子どもたちが学習している間に、日本語を勉強し地域社会での生活に役立たせてもらう。</p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な会話や単語を知る。</li> <li>・子どもたちの学校生活上に必要な言葉を覚える。</li> </ul>
活動代表	<p>●武内敏子 ○すたんどばいみー（チューブサラーン）</p>
開催日時	<p>毎月・第4週の水曜日、Friends☆Star 教室開催時間</p>
場所	<p>中津レディースプラザ</p>

対象者	Friends☆Star 教室参加児童生徒の母親を中心とする保護者
収入予定金額	0 円
支出予定金額	12,200 円（賃借料、印刷製本費）

## 普及啓発事業 ⑬教育相談

事業概要	学校相談、教師相談、保護者相談、外国人当事者活動相談の4部門に分け、内容に応じて必要なグループを立ち上げて相談に応じる。相談内容については、活動報告会で報告し、社会的に弱い立場にある者に必要な支援のあり方を探っていくような場を設ける。
活動代表	●松永雅文 ○神戸芳子 ○清水睦美
開催日時	相談内容に応じて適宜対応する。
場所	適宜
対象者	大和市内教員・保護者・生徒、大和市内行政組織等
収入予定金額	0 円
支出予定金額	99,920 円（諸謝金、賃借料、印刷製本費、旅費交通費、通信運搬費）

## 普及啓発事業 ⑭学校及び外国人支援に関する普及啓発事業

事業概要	学校支援、外国人支援、子ども支援の必要性を広く市民に呼びかけるための活動を7部門に分けて展開する。 (1) 教育講演会（2018）の開催及び教育講演会（2019）の準備 (2) 広報「Ed.ベンだより」の作成と配布 (3) ホームページの運営 (4) 2018年度版パンフレットの作成と配布 (5) 他機関・他団体等との関係構築 (6) 会員に対する情報提供 (7) 研究者対応
活動代表	●角替弘規 ○下新原なつみ ○前田拓郎 ○池田喬 ○清水睦美
開催日時	(1) 教育講演会（2019）の準備（7月頃より講演内容検討開始） (2) Ed.ベンだより発行：2、4、6、8、10、12月（年6回） (3) ホームページ公開（更新随時） (4) 2018年度版パンフレット配布：4月 (5) (6) (7) 随時
場所	当法人事務所・富士見文化会館等
対象者	(1) 当法人理事を中心とする希望者 (2) (4) 会員、当法人関係機関、大和市内の学校機関

	(3)一般公開、(5)随時、(6)会員、(7)随時
収入予定金額	90,000円（参加費、書籍販売代）
支出予定金額	394,082円（印刷製本費、業務委託費、通信運搬費、旅費交通費、諸謝金、消耗品費、賃借料、会議費、雑費）

### ⑮法人の事業円滑実施のための活動

事業概要	法人の事業円滑のための活動を5部門に分けて行う。 (1) 法人内の事業相談 (2) 活動報告会の開催 (3) 会計 (4) 総会・事業記録・事務所管理 (5) 東日本大震災支援・反原発関連活動
活動代表	●清水睦美 ○武内敏子 ○すたんどばいみー（チューブサラーン） ○角替弘規 ○神戸芳子 ○篠原弘美 ○小西永里子
開催日時	(1) 事務局会議（原則月2回） (2) 活動報告会（原則隔月、年度末臨時）合計12回 (3) 会計処理（月1回）、会計確認（年3回）、会計監査（年1回） (4) 適宜 (5) 必要に応じて対応
場所	当法人事務所、富士見文化会館、大和市文化創造拠点シリウス
対象者	法人内会員
収入予定金額	0円
支出予定金額	472,000円（通信運搬費、消耗品費、賃借料、水道光熱費、印刷製本費、修繕費、租税、雑費）